

その他の金属製品製造業における転倒災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	9～10	当社工場内で鋼材コラム（口500×500×32、L5.5M）を2.8tクレーン2台で上を見ながら移動操作中、鋼材を置くためのマンホウ（角パイプ100×100、L2M）につまずき転倒した。その際に右手を床につき、右手橈骨遠位端骨折した。	39～49	30
1	8～9	自社製造工場内の屋根材断熱材裏張りラインにて、コイル巻き取り作業中、一旦ラインを離れて巻き取り後コイルをライン枝の蔵置場に運び、再び作業場へ歩いて戻る途中、床に敷いていた薄鉄板の一部に、床より1cm程めくれた箇所があり、そこに左足つま先が引っかかり転倒し、右足膝を床に強打した。転倒後、それほど痛みが強くなかったが、次第に腫れや痛みが強くなった。	47～	10 29
1	7～8	会社の駐車場で、車に積んでいたポリタンクを工場前に運ぶため、車を移動しようと乗り込もうとしたところ、足元の雪で滑りバランスを崩し、車の扉に右胸を強く打ちつけ転んだ。	27	—
1	17～18	第1工場の外に止めてあった車を工場内に入れるため、工場の扉から外に向かって歩いていたところ、道路が凍結していたため滑って転倒してしまい、左足の脛2本を骨折した。	59～	10 29
1	21～22	PETベール投入口にて、PETベールの結束材を取り外し、階下のフレコンに入れようと金属製の階段を下りる途中、階段が水で濡れていて足をすべらせ階下に落ちる際に左下肢を捻った。	40～	100 299
1	7～8	当日、車で会社に出勤し、会社内の駐車場に車を置き移動した時、路面が凍結しており、つまずいたため前のめりに転倒し、右脛を思い切り強打した。	64	1～9
	20～	業務を終えて帰宅する為に駐車場内を歩行している際、凍結した路面で滑り転倒し		100

1	21	て右足関節外果骨折をした。	51	～ 299
1	11～ 12	北側の工場内で塗装中、作業台を跨いだ時に左足が砂利で滑って、右足のヒザ下を打撲し骨折した。	69	1～ 9
1	13～ 14	工場内にて、鉄鋼の入出荷を行うためリモコンを使用し、鉄鋼の位置等を確認しながらクレーンを操作中、足元にあった鉄鋼を置く台（高さ20cm）に躓いてしまい、左腕を骨折した。	43	1～ 9
1	11～ 12	工場内の休憩室にあった納品書を社長（工場内にいる）に届けようとした際、床マットに右足が引っかかり、左顔面（打撲、キリ傷）及び左ひじを強打した。	69	—
1	10～ 11	現場内で、加工途中品（1741mm×120mm、重さ800g）を持って移動中、進路上の足元に置いてあった樹脂パネル（500mm×40mm位）を踏みつけた所、樹脂パネルごと足を滑らせ、横向けに転倒し、左足を強打した。	66	100 ～ 299
1	11～ 12	高さ約70cmの鉄筋加工台の上で鉄筋を束ねているばん線を切って加工台から下りる時、左足が引っ掛かりそのまま転倒した。	54	1～ 9
1	16～ 17	事業所工場内において、穴あけ機で鋼材（H型鋼、H300×300、長さ5m、重量450kg）に作業台上（高さ60cm）で穴あけ作業中、移動する時に躓き、2～3歩よろけてしまい、H型鋼を跨ぎ足を下したところがH型鋼の隙間だった為に倒れて負傷した。	65	1～ 9
2	14～15	第二工場内資材置場にて、加工に必要な鋼材を資材置場より移動させる作業を被災者は行っていた。移動中被災者は右肩に鋼材を担いでいたが、バランスを崩し右側方に転倒し、転倒した際に右腕前腕を骨折した。	23	10 ～ 29
2	16～17	工場加工場内で切断機上部を歩行中にスリップ・転倒し尻餅をつき、その際に縦に向いていたD16の鉄筋が臀部に刺さり出血した。	39	10 ～ 29
2	10～11	半製品の置かれている場所（現場）で足が引っ掛かり、手をついた時、ヒビが入った。	55	10 ～ 29

2	15~16	工場内で廃材を片付け中に道路上に仮置きした廃材の上で足を滑らせバランスを崩し転倒した。	54	1~9
2	14~15	会社の工場内で鉄材料を手を持って運んでいる時に足元の材料に足がのってしまい転倒してしまった。	29	1~9
2	11~12	本社工場において、出来上がった鉄製品（約400×1500×5mm×20個、全部で約30kg）を出荷の為に、台車に乗せて工場外に運び出す作業中、台車の片輪が出口シャッターの溝に引っ掛かった為、台車を手前側に動かしたところバランスを崩して転倒した際、製品を受け止めようとして負傷したものである。	34	10~29
2	15~16	工作中、鋼材に躓き転倒して左手指を捻挫した。	65	10~29
3	17~18	工場内で仕上げ作業中に、200mm角の机木に上がり、高さ1200mm付近の製品の仕上げ作業を行っていたところ、机木が反転し転倒し、右足首に重心がかかり骨折した。	50	50~99
3	17~18	作業場で段ボール箱の荷物を車に詰め込むべく出入り口へ運んでいたところ、床に置いてあった木材に躓き転んだ為、左太ももを強打した。	55	1~9
3	7~8	事業所の敷地内を始業前の準備作業をしようと歩いて移動していたところ、昨日から降った雪で滑って転倒し、左足を負傷した。	63	30~49
3	9~10	弊社工場内にて、ブルーシートの上でセグメントにウレタンを塗布している際、両手に道具を持ってあるいたところ、ブルーシートの隙間に足が入ってしまい、膝から転倒し、右ひざの膝蓋骨を骨折してしまった。	61	50~99
3	8~9	日常点検を実施後、切断作業を開始した直後、切削水量が少なかった為、設備が停止した。給油の為、切削油（20缶）を両手で運搬している際、床面のエアースに足が引っ掛かり、前のめりに転倒し、左足を受傷した。	48	30~49
3	11~12	検査室内で台車に積まれた製品の入った箱を運ぶ為、持ち上げ歩き出そうとしたところ台車に足を引っ掛け転倒し、左膝を強打した。	55	100~

				299
3	8~9	プレス作業場にて、ブランキングプレス機で円盤状にくり抜かれたブランク材（直径18.5mm厚さ0.45mm重さ9kg）を保管しようとしていた。荷台（キャスター4カ所、2ヶ所固定した状態）に乗せてあるブランク材を入れる専用容器（重さ15kg、コの字型で鉄製横70cm縦55cm高さ50cm）への積み上げ作業を行う際、作業スペースを確保しようと専用容器上部に両手をかけて引っ張った。本来は可動しているキャスター部分から動かすが固定されたキャスター方向から動かしたため、固定されたキャスター部分が支点となり容器のバランスが崩れ、容器の荷台とともに後ろ向きに倒れ、右足首上部に鉄製の容器の上部が乗った状態になり負傷した。なお、容器には、ブランク材が1500材積んである状態だった。	35	30 ~ 49
3	11~12	鉄工所工場内を歩いて移動中、作業のため準備しておいたキャブタイヤ（太めの電線）に足が引っかかり転倒し、地面に敷いてある鉄板に左膝を強打し骨折した。	68	1~ 9
3	15~16	工場の片付・清掃中、第一工場から第二工場へ移動中、両手に掃除道具を持って階段を下りる際、足元の確認が不十分であったため、踏面を踏み外し2~3段下に落下した。	34	30 ~ 49
4	11~12	NC施盤からフライス盤へ移動しようとして振り向き、1歩目の左足が内側に滑り体が浮き上がる様な形になり、左側骨盤から尻もちをつくように強打した。床は若干滑る状態であり、且つ、安全靴が新品で底が硬く滑りやすい状態であった。	45	100 ~ 299
4	21~22	配達先にて階段から下りる途中、足を踏み外して転落し、右肩と右手を強打した。	42	1~ 9
4	18~19	コイルビルドアップのコイル両端への普通鋼溶接作業にて、コイル尾端がペイオフリールから払い出されたのを確認し、コイルに巻いてあった間紙をペーパーワインダーから抜き取る作業を行っていた。ペーパーワインダーから間紙を抜き取る為、両端のステップ間（約820mm）に足を掛けた際、右足をステップから踏み外して踏み外した右足頸部をステップ角部に打ちつけ骨折した。	53	50 ~ 99
4	10~11	休憩時間に作業場付近で配線につまずき転倒した。（配線は手元が暗かったため本人が準備した。）	80	10 ~ 29

4	10～ 11	工場内・入荷品、出荷品置き場で、トラックの荷台から一般鋼材（5～6m定尺パイプ）を荷下ろししようとした時、所定の置き場（床の上）に既に一般鋼材が大量に置かれていた。まだ一般鋼材を下ろす場所があるか否かを確認しようと、思わず既に置かれている一般鋼材に足をかけてしまった所、油がかった一般鋼材の表面で足を滑らせ前へ転倒し、右第5中足骨を骨折した。	24	30 ～ 49
4	13～ 14	当社工場内にて、塗装ラインで塗装用の製品のフック掛け作業中、塗装ラインの台より降りたところ（高さ約50cm）バランスを崩して地面に尻もちをつき、腰椎を圧迫負傷した。	63	1～ 9
4	16～ 17	部材上で解体中に、姿勢を変える為にワイヤー吊り上げ準備中の部材に手を掛けたところ、部材が動きバランスを崩して転倒した。その際、転倒した位置にあった未解体の構造部材に脇を強打した。	18	50 ～ 99
4	11～ 12	工場会食場にドアを開けて入る時に、左足が段差（約15cm）で躓き前方に転倒し、両手で体を支えたが右肩腱板を断裂した。	55	30 ～ 49
5	17～ 18	自社工場内にて帰宅支度中、作業台の下にあるパレットに足を引っ掛けて体勢を崩し、受け身をとった際に痛みを感じた。	65	1～ 9
5	15～ 16	当社工場内にて、棚に置いてある製品の確認作業中、棚の柱を左手で持って身体を支え、5～6cmの踏み台にのぼって棚の上部を覗き込んで確認していた。棚の柱を持ち直そうとしたところ、バランスを崩して後ろに尻もちをつくように倒れ、左肘とお尻を強打した。	52	30 ～ 49
5	15～ 16	工場内にて通路を移動中、体が不安定になり、脇のラックの支柱に右手をかけたが、バランスを崩し転倒し、地面に左手をつき負傷した。	57	30 ～ 49
6	16～ 17	工場内において、自動車部品の製造作業中、道路を通らずに移動しようと台車を跨いだ際、跨ぎ切れずに台車に躓いて床に倒れ、右肩付近を強打し負傷したものである。	64	30 ～ 49
		工場内で製品の引っ掛け作業を始める前に、トイレに行こうと歩いていたら、濡れ		10

6	8~9	ていたコンクリートの床で足を滑らせ、転んで負傷した。	41	~ 29
6	13~ 14	当社土場（資材置場）において、資材道具などの片付作業中（雨天で現場が中止のため、土場での片付作業中）、土場に敷いてある敷鉄板（鉄製1500×5000）上を歩いていた時、雨が降り鉄板が濡れていたため、足が滑って鉄板上で転倒し、その時に右手小指を骨折した。	70	30 ~ 49
6	8~9	自工場内において、マシニング機械の調整作業中に、本体側の状態を確認した後、コントロールボックスの操作に行く途中で鉄板蓋の上を走行した時、雨の湿気と機械油で鉄板上が滑り易くなっていたことと、安全靴が耐油性でない普通の安全靴で走行していたため、右足が滑り後方に倒れた際、左足首を捻り骨折した。	49	30 ~ 49
7	9~10	スケアシャーリングでのSCGA270E1.0×275×80、204枚約35kg加工板製品を手で持ち、運ぶ際に足元のエアホースにつまずき転倒、持っていた製品に胸をぶつけた。	42	10 ~ 29
7	18~19	冷蔵庫内ゴミ置場手前で、ダストカートに入っていたゴミを一旦カートから足元付近に取り出した。最後のゴミをカートから取り出し、ゴミ置場まで運ぶ際に足元にあったゴミに足をとられ転倒し、右膝を床に強打した。	56	10 ~ 29
7	14~15	取引先に納品物を納めに行き、積み降ろしをするために、フォークリフトに乗り、車の側まで移動したところ、フォークの爪の幅の調整が必要であったので、フォークリフトから降りた際に地面のへこみに左足をとられ捻り左足首を負傷した。	48	30 ~ 49
7	13~14	梱包作業中にラベルを事務所へ取りに行く際、近道しようと通路ではない場所を通り通路との境目のある柵を跨ごうとして柵に右足が引っ掛かり転倒した。転倒の際、床に右肩部及び右腰部を強打し大腿骨骨折、股関節骨折と診断される。災害当日は、会社から診察を勧められるが、様子を見て診察しようと当日は早退し帰宅。翌日痛みが引かなかった。	63	50 ~ 99
7	15~16	工場内通路において、ダクトからの油漏れ箇所があり、製造部次長が漏れた油の清掃をしていたが、被災労働者がそれに気付かず通り掛かり、油で足を滑らせ転倒し、その際、左手首及び左足付け根付近に打撲を負った。	67	50 ~ 99

7	14~15	発酵攪拌機の組み立て中、暑さが厳しかったため早めの休憩に入り、顔を洗おうとした時、足元が砂利で足首をひねった。	52	1~9
7	19~20	1階機械チーム作業場にて、作業終了後、生産管理板を所定場所に提出する際、通行禁止となっている単発プレス機と単発プレス機の間を通行したため、足元のエアホースに足が掛り転倒し、左手・左肩・右膝を負傷した。	54	100~299
7	16~17	倉庫にて、製品（厚さ200mm、幅405mm、長さ約9000mm、1ロット）をクレーンを使って移動していた。揃え重ねて置くため横にある製品の上にあがり、中央部分に近づこうと歩いていた。その際、右足が滑り右膝から製品の上に転び、右膝脛部分をつきながら滑り、製品の角部分で右膝脛部分を切り、負傷した。	20	10~29
7	15~16	工場内で、棚上に置かれている製品を入れるためプラケース箱を取ろうとした。（棚の天面に載せあった。）片手で棚板に掴まり、もう一方の手で箱を取ろうとしたところ、箱を取ったと同時に棚板を掴んでいた手が滑って離れてしまい、後方に倒れ込んだ。倒れ込んだ所に台車があり、その台車の金具部分にて、背中と腰を打撲した。	79	1~9
7	20~21	作業場にてPC作業（データ入力）を行なったあと、他作業に移ろうとして椅子から立ち上がる際、床に躓き転倒しそうになった。咄嗟に付近に置いてあるゴミ箱に左手を出して支えようとしたところ、薬指に力が集中して骨折した。	53	500~999
7	14~15	プラズマ切断機の掃除が終わり、台の上に立ったとき、立ちくらみを起こして転び、右足を挫いた（高さ1m前後）。	48	10~29
7	12~13	トラックの荷台に積んだスクラップを固定するため、積まれたスクラップの上に登り、ワイヤーを掛けようとしていたとき、スクラップの上で誤ってバランスを崩し転倒した。そのままトラックのあおりの上に倒れ込んで、胸部を打ちつけ負傷した。	41	30~49
7	20~21	仕事が終わる帰り途中、暗闇の中で足元が見ない状態にもかかわらず、確認を行わずに歩行し、掘られた場所に右足をとられ、不注意により右足を負傷した。	54	10~29

7	14～ 15	工場内にて、濃縮機下部部分（3900W×1880H×830D）を作業用踏み台（600W×900H×830D）に乗り、塗装し終えて作業用踏み台から降りようと3段目中2段目から誤って足を踏み外し転倒し、後頭部を打撲した。	35	10 ～ 29
7	10～ 11	当社倉庫で片付け中、棚の上の道具箱を下ろそうとして、バランスを崩して転倒し、道具箱（約10kg）が左手甲に落ちて負傷した。	25	1～ 9
9	16～ 17	当社作業場に於いてクレーン操作中、床に躓き転倒、左手を着いた時手首を骨折した。負傷後は通院しながら仕事をしていたが、骨折した時の影響で左拇指付根の筋が切れた。	64	10 ～ 29
9	11～ 12	会社工場内において、ゴミを捨てにゴミ捨て場に向かう途中つまずいて転倒し手にゴミ袋を持っていたため膝を打ちつけてしまい負傷した。	49	30 ～ 49
9	10～ 11	当社工場内で、水圧転写機の点検中に、機械の下の床が濡れていて、足を滑らせて転倒し、右腕の手首周辺と腰を打撲した。	57	10 ～ 29
9	0～1	工場内、自身の現場へ向かい歩行中、通路の油の拭き残しで右足を滑らせ転倒。その際、左膝を床面に打ちつけ受傷した。	62	100 ～ 299
9	15～ 16	製品を塗装するラインで、塗装後の製品同士の接触による傷を防止する為に、緩衝材を取り付ける作業をライン内で行い終了後、他の人がライン内に進入しない様にするプラスチックチェーンを掛けた際に股の間にチェーンが入っている事に気付かず動いてしまい、右太ももにチェーンが掛かりバランスを崩して転倒して、右膝を床に強打した。	43	50 ～ 99
9	17～ 18	業務終了後、工場敷地内駐車場へ向かう途中に、溝に足をとられ転倒、右肩を強打し骨折となる。	37	50 ～ 99
		切断定盤下に溜まったノ口の除去工事の為に、切断定盤を一次撤去すべく被災者は玉掛け作業を行っていた、玉掛け後、クレーンにて切断定盤を移送中、後方より積		50

9	15～ 16	層された鋼板上を歩いていた被災者が最上段の鋼板端部を踏み外し約10cmの段差で足首を捻って受傷した、吊り荷の定盤に気を取られ足下への注意が不足していた。切断定盤を足場の悪い場所（材料置き場）に仮置きしようとした、作業前に移送経路の周知や危険予知の確認に関する打ち合わせが出来ていなかった。	24	～ 99
9	16～ 17	社内のトラック駐車場で、トラックの荷台上を片付けしようとしたところ、荷台にこぼれたグリスに足をとられて左足を外側へ滑り開脚状態になり、左股関節部を痛めた。	42	～ 29
10	11～ 12	当社事務所の鋼材ヤードにおいて、入庫した平鋼にサビ防止のためのシートをかける作業を行っていた。作業中にシートの下にある平鋼に足を引っかけてしまい、転倒して負傷した。	68	～ 29
10	13～ 14	当社工場内にて作業中、部品を取りに行く途中、足がもつれ転びそうになってしまい、工場建屋の柱に、体勢を崩し、つかまった際に右手中指を負傷したもの。	27	～ 29
10	16～ 17	当社工場内に於いて鉄製のパレット（縦110cm・横110cm・高さ47cm）の修理作業を終えそのパレットにオイルがかなり付着していたので、手を洗いに休憩室の水道に行こうとした際に、水道付近まで行き手を洗おうとした時、足元にゴキブリがいるのに気づき驚いて後方に飛び跳ねてしまいその際に滑って左手を着いたため左手首を負傷した。着用していた安全靴にもオイルが少し付着していた。	60	～ 29
10	9～ 10	確定注文連絡と作業指示書を現場に配布するために外階段を降りる際、階段中腹で足が滑り3段程左足踵より落下。手摺にしがみついた為それより落下することは防げたが、しがみついた時に左足を軸に体を捻った為、左足を捻り骨折してしまった。前日台風でかなりの雨が降り吹き込んでいたため、滑りやすくなっていたと推測される。	48	～ 29
10	10～ 11	柱大組立作業中、高さ80cmの大組台の上にある片側の幅80cmのスペースの上のって作業していたところ足を滑らせ落下した。落下するときに、大組台で右手を強打し、右手小指を骨折した。	46	～ 99
10	19～	加工ライン後工程にて通常作業中、穴明機前から高周波焼入工程へ移動する際に足元に敷いてあるマットにつまずきバランスを崩して転倒した時、仕掛品が入ってい	37	～ 30

	20	るポリ容器に背中を強打した。		49
10	16～ 17	当社工場内を移動中、床にあった鋼材料の入ったプラスチックケースにつまずき、転んだ時に床に右ひざを打ちつけて負傷した。	63	10 ～ 29
11	22～ 23	給食を納品の際、奥の荷物を手前に引き出すため荷台に乗り作業後、飛び降りた時に左足を痛めた。	22	50 ～ 99
11	15～ 16	会社の資材ヤードにて部材用ラック（ユニットという）を組み立て作業中、縦の支柱（約2m）に横手摺り（1.2m、3.3kg）を高さ1.8mの部分に取り付ける際、左手で手摺りを逆手で支持し、ハンマーで支柱に手摺りを打ち込んだ際、誤って左手小指先端部分を叩いて負傷した。	65	1～ 9
11	15～ 16	取引先の現場で積み荷を降ろす際雨が降っていた為、足を滑らせてしまい積み荷を持ちながら転倒し、積み荷で指を負傷した。	32	—
11	8～9	出勤時に1F会社入口から入り、タイムカードを押しに行こうとした時に、床で滑って転倒、その際に右手を床につき、負傷した。	70	10 ～ 29
11	14～ 15	製缶工場にてサンダー作業中、立ち上がり横に移動していた時、足がもつれてよろけ台に躓いて転倒し定盤で左の膝を強打した。翌朝、痛みがひどくなった。	32	50 ～ 99
12	16～17	車庫新築工事の現場にて、脚立を使用して、金物部分の取り付け作業を進めていた。その日の作業が終了して道具の片付けをするのに脚立を抱えて移動していたところ、地面との間一面に張っていた氷で足を滑らせて、脚立ごと転倒した際に肋骨を強打した。	41	1～ 9
12	7～8	会社へ出勤し、事務所へ入室した所、床が雪で濡れていた所があり、そこで足が滑り、仰向けに転倒した。その時、左手をつき、左手首を骨折したものである。	56	30 ～ 49
		スチール建具組立工場内の大掃除をしていた際、溜まったゴミを別棟倉庫に持って		

12	9~10	行こうと両手にゴミ箱を持ち、出口のスロープを渡ろうとしたとき、雪で濡れ滑りやすくなっていた為、転倒し腰を強打した。その際、安全靴は履いており、ゴミ箱2つには2kg以内のゴミが入っていた。	40	10 ~ 29
12	9~10	自社工場内倉庫において、照明スイッチを押した後、振り返りざまにバランスを崩してふらつき、その際、保管してあった工業用扇風機の脚につまずき、右手を挙げた状態のまま転倒し、右肩を強打した。（倉庫奥の作業用品をとりに行く途中だった。）	59	10 ~ 29
12	14~15	第一工場の大掃除中、受入場から塗料庫前の置き場へ社内用パレット（約15kg）を持ち上げて運搬していた。その際、運搬経路の足元にパレットが置いてあったことに気づかず、躓いて転倒した。	44	100 ~ 299
12	8~9	工場にて仕上がり品を運び出すとき、ハンガーに足が引っ掛かって転び、床（コンクリート）に膝から転んで打ちつけた。	53	1~ 9
12	14~15	工場にて、レーザー加工機の集塵機を清掃している際、開いている扉に手をかけたところ更に扉が開き、体を支えきれなくて地面に手をついた際、左手親指の付け根辺りを負傷した。	49	10 ~ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html